

2012年度事業報告書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

特定非営利活動法人ニューウインド

1 事業の成果

- ・各調査研究については、生活事態が困窮しているという共通の課題が今年度も聞かれた。今年度も課題解決に向けて引き続いて各調査研究事業で取り組んで行った。
- ・講演会については、今年度も一人ひとりの人権意識の高揚と定期的な実践を望む声がアンケート結果からも伺えた。今後も引き続いて取り組んで行きたい。
- ・機関紙発行については、調査研究課題を啓発予定であったがスタッフ不足から今年度も発行までに至らなかった。機関紙発行は次年度も課題である。
- ・障害者自立支援法施行後の障害者の生活は厳しいものであり、引き続き更なる取り組みが必要である。
- ・マイノリティの研修会とニューウインドをつなげるカウンセラー育成講座を今年度も7回に渡り行い、1回につき20～30名の参加があった事は成果であった。
- ・東日本大震災の被災された方に対する電話相談を新しく実施する。震災後の厳しい生活実態を相談される。一日でも早い復興に向け相談された課題を整理して取り組んでいきたい。

2 特定非営利事業に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
調査研究	各地域「老人会」訪問・保健・医療・福祉の現状を聞く	5月 2月	人権センター	2名	地域住民 4地域 30名	0
調査研究	障害者から生活課題を聞く	4月 10月	人権センター	4名	障害者の会 6団体 45名	0
調査研究	外国籍市民の現状と生活課題を聞く	6月 11月	人権センター	3名	フィリピン・ブラジル・中国国籍の人 20名	0
機関紙発行		実施していない				0
調査研究	子どもの学力・健康・生活の現状を聞く	6月 8月	児童館 図書館	3名	25名 22名	0

ワークシ ョップ	・外国籍市民の 生活実態を聞 く ・障害者とその 家族との懇談 会と軽作業	9月 4月～3 月(月2 回)	公民館 悠然郷 (三原市 大和町)	8名 8名	・朝鮮・韓国籍 の人15名 ・障害者とその 家族・支援者 30名～40名	0
講演会	・啓発活動 を行う ・マイノリティ の研修会とニ ューウインド をつなげるカ ウンセラー育 成講座	5月 12月 8月～2 月	図書館 しまなみ 交流館会 議室	5名 4名	50名 58名 30～40名	0
電話相談	・東日本大震災 の被災者の方 への電話相談	12月～ 3月	人権セン ター	2名	8名(毎月)	0

2012年度特定非営利活動に係る会計財産目録

2013年3月31日現在

特定非営利活動法人ニューウインド

財産は資産の部、負債の部共に0で正味財産は0です。

2012年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで
特定非営利活動法人ニューウインド

科 目	金 額 (円)		
I. 収入の部			
1. 入金金・会費収入			
入金金	0		
会費	0	0	
2. 財産運用収入			
預金利息	0	0	
3. 寄付金収入	0	0	
4. 雑収入	0	0	
当期収入合計 (A)		0	
前期繰越収支差額		0	
収入合計 (B)			0
II. 支出の部			
1. 事業費	0		
・調査研究事業費		0	
・機関紙発行事業		0	
・ワークショップ事業費		0	
・講演会事業費		0	
2. 管理費	0		
・通信費		0	
・印刷製本費		0	
・消耗品費		0	
3. 予備費	0	0	
当期支出合計 (C)			0
当期収支差額 (A) - (C)			0
次期繰越収支差額 (B) - (C)			0